

かわじまウオッチング

第 4 号
平成 27 年 9 月 1 日



かわじま地域探訪倶楽部

新井孝政 急式米子
鈴木宗一 花木登茂子
福本角雄 山田芳子

さわやか夏散歩 【落合橋】

川島町は、四方を川にかこまれていて、その上小河川や用水が網目のように張りめぐらされています。そして見渡す限りの田畑が広がり、現在は高くそびえている建物がないために、四季折々の風景を眺めることができます。

この場所が「落合橋」なのです。昭和 53 年に上下線専用橋として完成しました。

川島町から川越市に向かう橋の少し手前で、ふと振り返って見ると、一面に色彩豊かな画廊があると思う様な素敵な光景。心がいやされます。長さ 562.3m（幅員 10.2m）の橋を渡り始めると、川や竹林、草花等さわやかな空気が漂っているので、身体全体に染み渡り、有酸素系運動には最適な散歩コースです。ただし交通量が少ない時間に限りませぬ。是非一度「落合橋」でちょっと歩いて、ちょっと休憩、そして水辺の景色と心地よい風で、心と身体をリフレッシュしてみませんか～

落合橋は川島側から越辺川、小畦川、入間川が流れていて、落合橋下流で入間川と小畦川が合流します。



川島から川越方面へ（上り車線）



川島から川越方面へ（下り車線）



小畦川と入間川の合流地点



川島から見た下り車線

春から夏にかけて咲く花ばな



【ドクダミ】

4枚の白い花びらに見えるのは、総包片で、その上の黄色い穂が花の集まり。花びらは、ないそうです。根や茎は、茹でて水にさらせば、臭みが無くなり食用になります。



【サンザシ「山査子」】

サンザシは、「赤毛のアン」の物語の中に出て来てその名前を知りました。どんな花なのだろうと思う気持ちのまま…。数年前、苗木を手に入れることが出来ました。春になると八重咲きのピンク色の花が枝いっぱい咲きます。



【シロツメクサ（白詰草）】

詰草は、昔ヨーロッパから船荷を運ぶとき、隙にこの草などの干し草を詰めていたからだそうです。

こどもの頃、この花で冠のように編んだり、長く長く編んで電車ごっこのロープにしたこともありました。



【ニワゼキショウ(庭石菖)】

庭にはえるセキショウの意味。花は1日でしぼむ一日花。我が家の庭さきに沢山咲き目線を花の高さにすると、草原に咲く花という趣になります。



【ヘビイチゴ】

へびという名がついているせいか手にしにくい多年草です。

食べて甘くなく果実には、しわが多い。



日本の年中行事 “ひな祭り”

3月3日は桃の節句。桃の花の咲く時期に当たるので、そう呼ばれています。ひな祭りは、ひな人形を飾り、桃の花や菱餅などを供え、女の子の成長・健康・幸せを願う行事です。

◆ひな飾りの歴史

ひな祭りのもととは古代中国の厄除けの風習でした。人の形に切った紙で身体をなでることで自分のけがれを人形に写し身代わりとして川や海に流し、厄除けをしました。

奈良時代に日本に伝わり「流しびな」という風習が生まれました。ひな人形を飾るようになったのは、室町時代からと言われ、紙で出来た素朴なものでした。

江戸時代に入り、初期頃は毛せんの上に紙びなや内裏様だけを並べていました。中期以降庶民の家でも飾るようになって人形も豪華になり、また調度品も手の込んだものになるに従い、段の数も増えて七段飾りが見られるようになり、現在のような段飾りのひな人形が登場しました。

内裏びなは一般的に、男びなは向かって左側に、女びなは向かって右側に飾りますが、もともとは逆に飾っていました。日本では左側が上位、右側が下位と考えられていましたので、上位に男性、下位に女性が座るようになっていました。昭和天皇が即位された時に西洋方式で、天皇が向かって左側に、皇后が右側に並んだため一般の人にもそれに習うようになり、内裏びなも同じように飾られるようになりました。関西などでは今も男びなを向かって右側に飾る家が多いようです。



我が家の内裏雛

◆ひな人形の種類

・享保びな・・・町家を中心に江戸時代を通じて流行したひな人形です。能面のような面長な顔立ちで、女びなは赤い袴に綿を入れて膨らませています。衣装が豪華で高さが70cm以上もある。

・古今びな・・・江戸後期に江戸の町人が生み出したとされる人形です。目にはガラスをはめ込んだり、女びなの袖口に刺繍をしたりと、写実的で豪華な江戸好みの人形です。現代のひな人形にもその様式が受け継がれています。現代のひな人形の元となった。

◆遠山記念館では2月中旬頃より3月中旬頃まで「雛の世界」展が開催されひな人形を中心に江戸時代から昭和初期の様々な日本の人形を見る事が出来ます。なお圧巻なのは遠山邸の大広間では十畳間の座敷いっぱい飾られたひな段飾りが見られます。創立者の遠山元一氏が長女の初節句の祝いとして大正時代に揃えたもので、関東風の「段飾り」と京都御所の紫宸殿風の館に人形を飾る「御殿飾り」の二組で構成されています。このひな段は向かって右側が男びな、左側が女びなの形で飾られています。

ぜひ一度足を運んでみてはいかがでしょうか。



遠山邸のひな飾り

左側「段飾り」

右側「御殿飾り」

山田 芳子 記

春のウォーキング

桜の開花に合わせ、出丸環境センター付近の、堤防へ桜を観に行きました。桜は満開に咲き誇る良いタイミングでした。



又、土地改良区前の貯水池周囲の、桜も満開に咲き、菜の花も一面黄色く咲き香りも添え爽やかに観賞出来ました。



三ツ又沼ビオトープへ

4月中旬、三ツ又沼へ、散歩と観察に初めて行きました。小道が出来ていて歩きやすく、クヌギやハンの木を見ながら道なりに行け、時々、雉の鳴き声が聞こえました。葦の湿地から三ツ又沼にカモがゆっくり泳いでいました。大沼の下流は歩道橋が良く出来ています。湿原で時期が早いのか、メダカやカワセミは見る事が出来ませんでした。



この、ビオトープに、出丸小学校の児童が、ハンノキを育て植樹し、ミドリシジミを増やそうと頑張っています。そして、ミドリシジミが、飛ぶところ写真を撮ろうと、数回ビオトープへ行きましたが、ミドリシジミは見付かりませんでした。知人の話では天敵(人、蜂)が多いと、言う人もいます。

ウォーキングについて

平成26年9月から、「若返り脳講座」を桜井ファシリテーターの、講義と支援の下、6人のメンバーがウォーキング、プログラムにそって実践しています。行動の決定者はメンバーであり、ウォーキングの参加できる条件、プログラムの概要を知り目標を立てています。基本となるのは、有酸素運動で、僕の場合、早歩き1日30分生活歩数7,000歩を、ウォーキング専用のカレンダーに、毎日記録を付けています。最初早歩きの実行となる、歩幅とスピードが安定しないので、運動公園の400メートルコースで、歩幅80センチ、タイム5分、と設定、何回も練習をつづけ、歩幅を大きく歩くことに挑戦しました。また、ウォーキングを習慣化、出かける機会が多くなり、平成の森公園は桜、バラ、ショウブ、古代蓮と、順番に開花するので、そのつど楽しみました。

福本 角雄 記

越辺川のビオトープ



八幡地区に貴重なビオトープがつけられているのを、皆さんはご存知でしたか。

ビオトープとは、生きものを意味する Bios と、空間を意味する Topos を合成したギリシャ語を語源とするドイツ語で、「野生の生きものたちが暮らす場所」を意味しています。

平成6年度に、川の流れをよくすることと、他の場所の堤防に必要な土を供給するために、越辺川の掘削工事が行われ、流域の市民の意見もとり入れられ、八幡地区にビオトープがつけられました。

工事の跡地には、蛇行の水路、中洲、砂れき地などの多用な自然環境が作り出されました。

普段、川が流れている低水路を本格的に整備したのは、全国でも初めての試みとして注目されました。

場所は、越辺川天神橋下流の左岸側500mの場所で、面積は約2haほどあります。

土を掘ったところは、普通では、平らにならずところですが、わざと凸凹にし、カワセミ、コチドリ、オオヨシキリ、トンボ、カエル、カメなどの水生動物が暮らせるように曲がりくねった水路や池、湿地、中洲、砂礫地にするなど様々な環境をつくりだす工夫がなされました。

ビオトープは、地域の自然を守る生態系のしくみをもった場所として、重要な価値があります。

しかし、近年、このビオトープの環境悪化、消滅などにより、野生の生き物たちが絶滅の危機にさらされています。それを守るために、今、生き物だけ

でなく、同時に、私たち地域住民が、ビオトープを守り、自然生態系を守ることが必要とされています。

越辺川では、平成6年から現在まで、4箇所ではビオトープの整備が行われています。

1 天神橋下流



2 飯盛川との合流点上流



3 赤尾落合橋下流

(上流にも、ビオトープがつけられています。)



私たちが、これからも越辺川のビオトープの成長を見守り、自然生態系を大切にしていくことによって、多くの生物たちがそこで暮らし、餌場として利用して、私たちの暮らしにとっても、より良い自然環境がつけられていくことになるでしょう。

(荒川上流河川事務所からの資料を参考、引用しました。)

(鈴木 宗一 記)

川島町の桜の名所

毎年3月になると、桜の開花の時期が話題になります。川島町にも桜の名所が沢山あります。今回、主な場所を撮影してきました。名所は、あなたと同じ場所でしょうか。

川島桜づつみ



平成10年に整備されました。桜の木の数、休憩の為の東屋もあり川島桜の名所、1位だと思います。

平成の森公園の桜



家族でくつろげる芝生広場と一体になっています。町外から訪れる方が多いのが特徴です。町内の多くの方

のご利用を期待します。

白井沼ファームポンドの桜



土地改良区の南側の貯水池は、桜の木の数も他のファームポンドに比べ、多い。東側の堀は菜の花とのコラボレー

ションが最高です。

鳥羽井沼自然公園の桜



鳥羽井沼自然公園の東側堤防の下です。二列に並んだ桜の花の空間は花に抱かれているようです。撮影当日、ス

ケッチをしている人を見かけました。

川島町の各小学校の桜

小見野小学校
南側道路より



出丸小学校
南側垣根より



三保谷小学校
西側道路より



八ツ保小学校
南側道路より



中山小学校
北側校門前



伊草小学校
東側校門前





川島町マスコットキャラクターかわべえ & かわみん

ごあいさつ

わたくしたちは、川島町地域包括支援センター主催による認知症予防の”若返り脳講座”の受講者です。”かわじまウォッチング”は若返り脳講座の活動内容の一つであるミニコミ誌の名称です。私たちの住んでいる地域をもう一度見直し、川島町の魅力を探求したいと活動しています。

あらためて、皆様には、川島町についての関心を深めて戴くきっかけになれば幸いです。

かわじま地域探訪倶楽部一同